新英語教育研究会和歌山支部 会報
2017 年度第 1 号

2017 年 6 月 13 日（水）

発行人：新英語教育研究会和歌山支部（支部長：中西毅）

支部 Email：shineikenwakayama (at) yahoo.co.jp
〔(at)を@に置き換えてください〕
支部 HP：http://www.geocities.jp/shineikenwakayama/

2017 年度第 1 回報告

2017（平成 28）年 6 月 10 日（土）10：00～12：00，和歌山大学教育学部英語合同研究室（人-410）において 2017 年度第 1 回研修会が開催されました。中西毅支部長の進行のもとで，総会が行われました。総会では，昨年度の活動報告，会計報告及び今年度の活動計画について取り決め・報告が行われました。参加者の自己紹介の後に，江利川春雄さん（和歌山大学）より最新の英語教育政策の動向についてお知らせいただきました。その後，研究発表・実践報告として，佐々木敏光さん（大阪大学大学院博士課程）より「日本語のオノマトペ」及び「論文発表における『研究の目的』と『結論』の整合性」について，中西毅さん（和歌山県立工業高校）より「和歌山県中 3 生英検全員受験の実態」についてご発表いただきました。参加者は，計 10 名（一般 5 名，院生・学生 5 名）で，終始なごやかなムードでした。

総会の様子（2017.6.10）

1. 題目：日本語のオノマトペ（ Japanese onomatopoeia ）

レポーター：佐々木 敏光 さん（大阪大学大学院博士課程）

日本語は英語と比較するとオノマトペが多く，このことは外国人が日本語をマスターするのを難しくしていると言われています。私たちが日常生活の中で使っている日本語のオノマトペと英語のオノマトペを比較します。

佐々木 敏光 さん

日本語のオノマトペと英語の類似表現とを比較してご発表いただきました。「マンガ文化」の広がりとともに注目が増している分野です。

参加者からは，「なぜ日本語にはオノマトペが多いのか」という質問や「英語は動詞表現で意味をカバーしている」との意見があがりました。本会報作成者は，音声に興味がありますので，両語表現の音声的類似性も気になったところです。大変興味深いご発表でした。

2. 題目：論文発表における「研究の目的」と「結論」の整合性

レポーター：佐々木 敏光 さん（大阪大学大学院博士課程）

論文発表（卒業論文を含めて）では，研究の目的と結論の間に整合性を持たせる必要がありますが，両者の間に齟齬が生じることがあります。専攻分野が英語であれ，他の分野であれ，目的と結論の間に整合性を持たせるにはどのようにすればよいのかを考えます。また，発表用スライドの作り方についても触れたいと思います。

レポーター自身のこれまでの失敗談を題材として，どうすればこれらを避けることができたのかということを中心にお話しいただきました。

参加者からは，「ある変化を見るときに，そこには複数の要素が複雑に絡み合っているという難しさがある」や「これからの研究で求められるのはエビデンス。統計処理による有意差を見ることが必須とされてきている」などの意見もあがり，会報作成者自身，大変勉強になりました。個人的なことになりますが，今年執筆する修士論文に大いに活かしたいと思います。

3. 題目：和歌山県中 3 生英検全員受検の実態

レポーター：中西 毅 さん（和歌山県立工業高校）

和歌山県の市町村立中学校で税金による中 3 生英検全員受検制度か始まって今年で 3 年目となります。この制度により本当に県内の生徒たちの英語力や学習意欲は向上したのか？中学校で全員受検を体験した高校生のアンケート調査や県の統一テストの成績の変異から実態に迫ります。なおつかみとして，わたしが授業教材として取り上げた Queen の We will rock you の歌詞の解釈を協同学習的アプローチで深める実践の実演もやらせていただきます。

中西 毅 さん

“We will rock you”の“we”と“you”について考える協同学習的アプローチを紹介いただいた後，本題の「中 3 生英検全員受検」についてお話しいただきました。

レポーターは，調査した和歌山県内のある学校での英検 3 級の受験者の合格率が低く，また英語に対する学習意欲や自己評価が低かったことを指摘しました。また，生徒は無料受検には異論がないが強制受検に対して抵抗を持つ生徒がいること，及び中学校教員の大半が「全員受検」中止を望んでいることも指摘しました。

参加者からは，「教育長による英検 3 級相当が 39.9%(H28 年度)という答弁が気になる。すなわち学力的に中位にある今回の調査校の合格率と整合性がないのではないか」という意見などがあがりました。

2017 年第 1 回 総会

1. 前年度活動報告

① **5/28（土）2016 年度第 1 回研修会**（参加者：12 名）

発表 1：カードをつかった語順習得指導（大野 傑 さん）

発表 2：工業高校でやってみた帯活動（中西 毅 さん）

発表 3：『英語と日本軍：知られざる外国語教育史』の紹介（江利川 春雄 さん）

② **7/30（土）～ 8/1（月） 新英語教育研究会 第 53 回全国大会（福島大会）**（参加者：1 名）

③ **11/23（水） 2016 年度第 2 回研修会**（参加者：14 名）

発表 1：フェアトレードバザーから世界へ：南紀通信初めてのバザー（上野 香織 さん）

発表 2：「生徒の英語力向上推進プラン」の考察：ニュー・パブリック・マネジメントの観点から（池田 恵 さん）

④ **1/8（日）～9（月） 関西ブロック合宿研**（参加者：3 名）

池田 恵 さんがレポーターとして発表

2. 2016 年度会計報告

2016（平成 28）年 4 月 1 日～2017（平成 29）年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
前々年度繰越金	9,222	合宿研補助費	5,000
会費	13,000	支出合計	5,000
収入合計	22,222	繰越金	17,222

3. 2017 年度の計画

① **8/5（土）～7（月） 新英語教育研究会 第 54 回全国大会（東京大会）**

② **9･10 月頃？ 2017 年度第 2 回研修会**（日程は追ってお知らせいたします）

レポーター：上野 舞斗 さん, 松岡 翼 さん, 孫工 季也 さん＋中高教員のどなたか（募集）

③ **2017 年度関西ブロック合宿研**

4. そのほか

・会の情報をお伝えするために twitter 始動（https://twitter.com/shineikenwakaya）

・近畿・東海サークル連絡協議会・奈良集会の英語分科会（8/27）でのレポーター募集

和歌山支部から 1 名レポーターを要請されています。立候補をお待ちしています。

2017 年度第 1 回会報編集担当：上野 舞斗（和歌山大学大学院修士課程）